

明倫

題字：横村正直

平成二十年十月一日発行
明倫自治連合会 広報委員会
発行部数 2000部

“明倫ニュース第 20 号” 記念 「オープン・ザ・自治連」特集！

◆ 平成 14 年 5 月、明倫
ニュース創刊号を学区
の皆さまにお届けして

以来、早六半年、お蔭
さまで今回、第 20 号
を発行することができ
ました。

今回はその第 20 号
を記念して「オープン・ザ・自治連」を特集
します。

今号の記事により、
明倫自治連合会を構
成する各種団体と、そ
の活動の内容と意義を
より一層ご理解頂き
たいと思います。

また、各種団体役員
の皆さんの顔を知って
頂くことで、親しみの
ある、頼りになる、開
かれた自治連として、
次世代に受け継がれて
いく一里塚となること
を願い、特集しまし
た。

今後も学区の皆さま
の積極的な参加によ
る自治活動として、中
京区、京都市、全国に
誇れる自治連として発
展していく事を願って
います。

編集委員一同

「明倫」20号を記念して

明倫自治連合会・会長 吉田孝次郎

最近、明倫地区の自治活動が「生き生きと輝いてきた」との評判を聞く
ことがあります。これは各種団体やまちづくり委員会等の情報が的確にゆ
きわたってきたからでありましょう。

当連合会広報紙「明倫」の発行も、平成 14 年に始まり、今回で早や 20 号
になりました。

いつ、どこで何をしているか、将来の明倫がどのように在ったら良いか
を地区民全員で考えを示し、それを実現させてゆくのにこの広報紙は役立
ってゆくことでしょう。編集委員諸氏の労に感謝します。

明倫学区が『まちづくり功労者』に！

まちづくり月間・国土交通大臣表彰

第 26 回平成 20 年度(まちづくり月
間における『まちづくり功労者』として
明倫学区が表彰されました。

『まちづくり功労者』は、魅力あるま
ちづくりの推進に著しい功績のあった
個人団体を国土交通大臣が表彰する
もので、地区計画「づくりりや 明倫文
化祭」、夜話の座など、明倫学区にお
ける一連のまちづくり活動が評価さ
れたものです。

6月25日、学区を代表して吉田自治
連会長が表彰式に出席、都市センタ
ーホテル・ニューモスホール(東京都千代田
区)において、全国の 54 件とならんで
表彰状を授与されました。



都市センター（東京）での表彰式

私たちが本部役員です。自治連の活動全般についてのお世話をしています。

どうぞよろしく！



総務補・事務局
河野 泰
(玉蔵町)



会計監査
川崎 榮一郎
(三条町)



副会長・会計
市田 昌生
(炭之座町)



副会長・総務
井上 成哉
(三条町)



副会長
井上 高明
(骨屋町)



会長
吉田 孝次郎
(六角町)

◆自治連本部

◆「オフィス・ザ・自治連」特集◆ 明倫自治連合会・各種団体の役員と活動紹介

*掲載は原稿到着順です。

社会福祉協議会

役員



会長
寺江 信子
(六角町)

副会長 陣内 光子(百足屋町)
会計 橋本 久子(炭之座町)
委員 八田 典子(炭之座町)

活動

「ふれあいいきいきサロン」自治会館
遊戯室にて年10回開催。ゲーム歌、
体操を取り入れ、食事付きのときは
約70名参加、茶話会の時は約30名の
出席。

「夏祭り」(9月始め)音楽演奏と食事
を楽しんでいただきます。

「クリスマス集い」(12月)音楽とマシ
ックなど。クリスマスケーキを子供達
と囲んでロソクを灯します。

「お雛祭り」(3月)お雛様を飾ってお寿
司、雑アラレをいただきます。

以上の各事業には、通信病院、五条署、
中京消防署、包括センター等から講師を
招き、病氣予防や交通安全、防火の話や
困りごと相談などを行っています。

明倫自主防災会

役員



会長
酒井 英一
(百足屋町)



副会長・会計
道家 秀明
(観音堂町)

東ブロック



東ブロック長
柴田 光雄
(骨屋町)

「饅頭屋町、七観音町、手洗水町、
箒町、骨屋町、占出山町」

西ブロック



西ブロック長
堀 哲朗
(不動町)

「鯉山町、山伏山町、橋弁慶町、
姥柳町、不動町、西六角町、六角町」

南ブロック



南ブロック長
井山 和彦
(西錦小路町)

「菊水鉾町、天神山町、観音堂町、
百足屋町、小結棚町、炭之座町、
西錦小路町」

北ブロック



北ブロック長
清水 優
(烏帽子屋町)

「御倉町、烏帽子屋町、衣棚町、
了頼図子町、玉蔵町、三条町、
釜座町」

活動

自分たちの町内は自分たちで守る
ため、平常時の活動として、

顔見知り運動 自治連役員懇親パ
ーティ、区民運動会 まちなかを歩
く日等々、自治連の各種催しにブ

ロック長はじめ各町内の防災部長の積極的な参加。

町内ごとの防災マップ作成 毎年のメンテナンスを行う。

防火防災訓練(AED、救命講習など) 消防団、消防署、通信病院の協力で各町内で実施。

非常時のために家庭の備蓄をPR 運動会、ボウリング大会などの景品に、体振の協力で「非常食」災害グッズ等のシール貼付。

老人クラブ 明寿会

役員



会長 五藤 耕之助 (西錦小路町)

副会長 岸本 貞一 (釜座町) 会計 赤井 又二郎 (鯉山町)

会員は60才以上の男女100数名で構成され、会員相互の親睦と健全な心身を保つ事を目的に、クラブ活動、研修会、スポーツレクリエーション、奉仕活動を行っています。

中京老人クラブ連合会に所属し、連携して活動しています。

活動(部会)

手芸クラブ(ちぎり絵)

代表 田和 悦子

毎月2回、格調高い美しい作品を目指し、努力を重ねています。

手芸クラブ(パッチワークキルト)

代表 井ノ口 睦子

毎月2回美しい布地を使って、女性らしいきめ細かい作品を手がけ楽しんでいきます。

体操クラブ(代表 赤井 春枝)

毎月2回、一人暮らしのお年寄りが参加されることを目標に「すこやか体操」を中心に、頭の体操、健康講話、お誕生日会等々企画盛り沢山、参加者は20名に達しました。

囲碁将棋クラブ(代表 五藤 耕之助)

毎月2~3回、会員14名、90才以上の方も3名参加されています。

ゲートボール(代表 五藤 耕之助)

体振の通常練習に積極的に参加し、対外試合の中核となっています。

中京老人クラブ連合会と連携

中京の二条城清掃奉仕活動に古くから取り組んでいます。

高倉小学校

スマイル委員会に参加 子供安全会議に参加

民生児童委員会

役員



会長 八田 典子 (西錦小路町)



副会長 向井 浩司 (骨屋町)



会計 山本 睦代 (衣棚町)



主任児童委員 北川 佳代子 (百足屋町)



老人福祉委員 田原 絹子 (鯉山町)



老人福祉委員 坂梨 真理子 (玉蔵町)

★活動

児童母子専門部会、老人専門部会、身障専門部会」に、各3年間所属し、それぞれ研修会、講演会、部会等で活躍します。

月1回、活動報告書を中京福祉事務所に提出。各担当の地域を分担して活動。

老人福祉委員は民生委員共々、高齢者への目配り、気配りをしている。社会福祉協議会にも協力、協賛している。

体育振興会

役員



会長 北川 道裕 (百足屋町)

副会長 中島 浩蔵 (鯉山町) 会計 市田 桂子 (炭之座町) 体育指導員 村島 秀夫 (釜座町) 同 堀 明美 (不動町)



市田 桂子 (炭之座町)



小西 慶典 (百足屋町)



山田 忠男 (百足屋町)

・芸術センターグラウンド

・芸術センターグラウンド

・芸術センターグラウンド

卓球部



堀 明美 (不動町)

・自治会館 遊戯室

空手部



田島 論 (百足屋町)

・自治会館 遊戯室

バレーボール部



岩崎 希美子 (百足屋町)

・高倉小学校 体育館

剣道部

岡山悟 市田 炭之座町) 自治会館遊戯室

活動

- 5月 中京ソフトボール大会
 - 6月 中京バレーボール大会
 - 10月 区民運動会
 - 11月 京都市スポーツフェスティバル
 - 1月 卓球大会
 - 3月 明倫ボウリング大会
- その他、各サークルの大会随時あり。

共同募金委員会

役員



会長 伊藤俊子 (天神山町)

委員 玉井 俊子 (西錦小路町)

活動

各町内会長さんに、共同募金会より来ました主旨を配布してお世話になっております。この秋も、どうぞよろしく お願い致します。

明倫消防分団

役員



分団長 吉居 章一 (骨屋町)

活動

副分団長 総務 中西常雄(天神山町)
副分団長 警防 正木敏明(西錦小路町)

現在は団員 15 名で、毎月 5 日 20 日の無火災の日と学区全体を巡回広報。

- 5月 中京区総合委員、小隊訓練、ポンプ操法実施。
- 7月 祇園祭特別警備(14日、17日)
- 9月 秋の火災予防週間(1日)
- 12月 年末特別警戒(25日、30日)
- 1月 京都市出初式参加
- 合同震災訓練(二条城)
- 3月 春の火災予防週間(1日、7日)巡回広報

その他、各マンション各町別の消火・救急救命訓練に参加。

更生保護女性会

役員(中京東地区)



明倫学区理事 大橋 恭子 (御倉町)

副理事 岸本波留子(釜座町) 会員 2名

活動

国の行う保護事業(法務省 保護観察所)に、母 女性の立場から協力、ふれあいと対話が築く明るい社会を作ろうとする団体です。

保護司を通じ物心両面の協力研修会 社会を明るくする運動参加

「更生保護法人盟親」、西本願寺白光荘、「青少年育成会」の市内3保護施設に物心両面協力、寄付、愛の図書贈呈、おはぎづくりなど。矯生活施設 宇治少年院、京都医療少年院(訪問、愛の図書贈呈など) その他、社協など研修会への参加。

文化協議会

役員



会長 小西満寿子 (百足屋町)

活動

中京区民の文化の育成と振興を図る

遺族会

今年度の活動)

- 9月11日(木) 大徳寺にて文化財鑑賞会
- 11月10日(月) 区役所にて歴史文化講演会
- 元禄後の三都 京、大阪、江戸
- 12月25日(木) 正月用フワアレンジメント教室
- 3月2日、6日 区役所ロビーにて文化芸術作品展

遺族会

役員



会長 吉居 桂一 (骨屋町)

活動

現在会員 13 名、発足当初から大幅に減少しています。最高齢者が 93 歳、最も若い人で 64 歳と高齢者が多く先の大戦が非常に遠い存在になっています。

本年度の活動)

- 6月21日(土) 百足屋町の瑞蓮寺にて追悼法要(昭和57以来)
- 毎年、京都府戦没者追悼式、京都市戦没者追悼式、京都府遺族大会に随時出席。中京区遺族慰安激励大会(年1回)に5名出席。

※ 他家から嫁いでこられた遺児で、特別 弔慰金を受給されている方が居らっしゃれば、是非吉居までお申し出下さい。

市政協力委員会



会長 山田 浩三 (六角町)

役員

副会長 吉居 章一(骨屋町)
副会長 堤 新治(不動町)

活動

市役所、区役所など、行政からの諸通知の伝達及び諸書類の配布、収集。市政の普及、徹底。市民の要望の取次ぎ。その他区長が必要と認めること、国勢調査時の調査員。

日赤奉仕団 明倫分団



分団長 岸本 克啓 (小結棚町)

役員

副分団長 平井 佐太郎(橋弁慶町)
副分団長 高谷 皎二(骨屋町)

活動

4月 第一回中京区赤十字奉仕団分団長会議出席
5月初旬 日本赤十字社に対する社費及び寄付金の募金活動
6月 他府県での一日研修
10月 中京区民運動会、日赤ブース参加
12月 第一回中京区赤十字奉仕団分

団長会議出席

祭事委員会



委員長 中尾 金次郎 (天神山町)

役員

副委員長 大田 龍一(烏帽子屋町)
副委員長 辻井 健男(西六角町)

活動

八坂神社 学区代表として八坂神社年中行事に参加。7月は氏子、特に山鉾のある学区として協賛しています。
・11月15日(10時)月次祭 明倫の日です。お誘い合わせ、お参りください。
節分 神前で舞妓さんと豆撒(その年の干支の方)
募集しています。詳細は中尾まで

平安神宮

10月22日 時代祭 明倫は第四社に参加。今年は馬当番に当り、小田忠夫様(古出山町)が颯爽と馬に乗られます。行列は、生祥校、御所、烏丸御池、神宮です。
● 伊勢神宮式年遷宮募金活動

保健協議会 献血推進委員会



会長 (両会兼務) 井上 清 (釜座町)

役員

保健所ニユスなど、公衆衛生及び健康に関する事項等の配付。
日赤よりの献血協力ポレラの配布。まち美化に対するビラの配付。
祇園祭のゴミ収集
お盆のゴミ収集
年末年始のゴミ収集

婦人会



会長 金剛 君子 (菊水鉾町)

役員

毎年、各町内より1〜2名の婦人会町委員を選出しただき、一年間の活動をしています。

活動

互いに協力しながら、主に地域行事のお手伝いをしています。
敬老会(70歳以上の方)の名簿作成、敬老の日記念品「の準備。
他学区婦人会と合同で高倉小学校夏まつり」の盆踊りに参加。
明倫文化祭、運動会、もちつき大会のお手伝い。
月1回(第1日曜)元明倫幼稚園にて

副会長 会計 陣内 清人 (百足屋町)

副会長 坂倉 寿一(骨屋町)

各町の市政協力委員には、保健協議会委員をお願いしています。

活動

使用済天ぷら油の回収。
他町の女性同士で交流でき、フォーグダンス、コーラス等のサークルもあります。是非ご参加ください。

平安八坂婦人会



会長 木村 十重子 (骨屋町)

役員

活動

奉仕活動、常務理事会の会合、参拝などがあります。
平安神宮 神苑の売店奉仕を4月から6月末まで輪番で担当(10日に1回、9時から16時まで)。
5月 総会 今年八坂婦人会60年記念大会開催。
6月5日 神苑無料公開
10月22日 時代祭りでは、ボランティアの着付けのお手伝い。
12月 宮司さんとの常親会、神宮からの依頼で護摩木、お伊勢の御札を取り扱っています。
その他
6月 レクレーション 今年多賀大社参拝ブルームの丘見学。
9月1日 各種団体による日本会議京都総会。
11月11日〜12日 倉敷へ旅行の予定です。多数の御参加をお待ちしております。

防犯推進委員協議会



支部長 浅見 儀明 (鯉山町)

役員

副支部長 会計

那須 明夫 (橋弁慶町)
委員 奥村 輝夫 (炭之座町)

山田 忠男 (百足屋町)
川勝 清一 (姥柳町)
大橋 恭子 (御倉町)
向井 富子 (骨屋町)
杉田 喜美枝 (鯉山町)

活動

五条警察署管内の一支部であり、地域住民の生活に危険を及ぼす犯罪等を未然に防止することにあります。月1回の集会をもち、夜間のパトロールをしています。五条署の行事に参加し、街頭での防犯啓発のビラ配りや、年に一度の防犯研修会を開催。今年も秋に研修会を予定しています。

まちづくり委員会



委員長 井上 成哉 (三条町)

役員

副委員長 会計 小島 富佐江 (百足屋町)

事務局委員 河野 泰 (玉蔵町)
委員 長谷川 明 (釜座町)

赤井 又三郎 (鯉山町)
齊藤 昌義 (鯉山町)
加茂 みどり (鯉山町)
平井 一郎 (了頓図子町)

活動

明倫字区では、マンションが急増し、世帯数は昭和40年の2倍になりましたが、1人住まいも増え、また、和装業界の低迷により、卸売業が減少し、飲食店やサービス業が急増しています。

このような現状を受け、新たな住民にと古くからお住まいの方々のコミュニケーション交流の場を創る、また明倫字区そのものを知って貰う、との方針で活動を続けています。

また、祇園祭の伝統を伝え、京町家が連続した街並みを守るため、住民自らが地域のルールを作成する「地区計画」の合意を目指しています。

安心して暮らし続けられる明倫字区を、地域自らで創るため、是非多くの新しい住民の方々の参加を！

身体障害者会

役員 会長 作道 利彦 (不動町)

活動行事予定

総会 年1回
1泊2日旅行
卓球 バレー大会

運動会
社会見学
秋の機能訓練

交通安全委員会



委員長 井上 高明 (骨屋町)

役員

委員 向井 浩司 (骨屋町)

松野 年男 (了頓図子町)
木寺 英夫 (西錦小路町)
醍醐 宏明 (二条町)
杉田 英雄 (了頓図子町)

活動

五条警察署 中京区役所の交通安全運動(ハレイド等)やイベント時の駐輪整備など。

少年補導委員会



支部長 島田 悠久雄 (百足屋町)

役員

副支部長 西村 直也 (姥柳町)

吉澤 昌男 (炭之座町)
田島 諭 (百足屋町)

会計 安田 貴子 (姥柳町)
委員 10 数名

少年の非行防止を図り、健全育成に

寄与する事を目的とします。

活動

街頭パトロールの実施
少年を明るく育てる大会、円山音楽堂での式典、パレード参加
高倉まつり 高倉小学校で出店参加
ラジオ体操 子供約70名、保護者、役員30名参加。

● 親子のつどい ハイキング等を予定 (9月か10月)

広報委員会



編集長 長谷川 明 (釜座町)

役員

編集委員 赤井 又二郎 (鯉山町)

井上 成哉 (二条町)
北川 佳代子 (百足屋町)
小島 富佐江 (百足屋町)
河野 泰 (玉蔵町)
道家 秀明 (観音堂町)

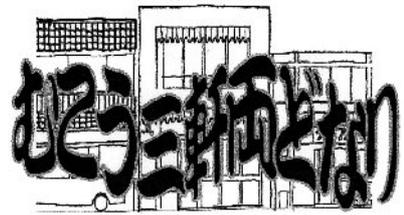
活動

明倫の皆さんのコミュニケーション誌というテーマで記事を構成し、勉強しながらの試行錯誤のうちに今の形が出来上がりました。

新企画の「向こう三軒両どなり」は、伝えて行きたい慣習や行事、心構えなどを紹介するため連載を始めました。

広報委員一同、力を合わせて本紙を明倫のデータベースにする所存です。

第二回 備えあれば憂いなし



～明倫のDNA～

明倫自主防災会
会長、酒井英一
さん(百足屋
町)

お話を伺った時、テレビではゲリラ豪雨の災害について話題沸騰。地震や豪雨など、地球環境が問われている時代です。

聞き手 井上

愛知県のゲリラ豪雨災害の報道で持ちきりですが。酒井 私たち京都に住んでいる人間は大災害を経験していません。京都で大地震が起ったのは1800年前の大保年間です。今となつては災害を語り継ぐ人もいない。

今年の祇園祭も無事終わりましたが、祭りも60年ほどはずっと無事に行われています。明治時代には17ラで4回ほど中止になったことがありますけどね。

幸いといつか、ある意味ではやはり危機意識がないので切実感が無いですね。

災害は、忘れた頃にやってくるんです。

酒井 まず、もつとすぐ地震が来る、新型コロナウイルスが来ると用心が大事ですね。

その時が来れば、自分の命は自分で守ると言うことが原則です。幸い命があったら、次はお町内で助けあう。そのためには何をすべきか。常日頃から地域で顔見知りを増やしておくねと思えますね。

誰がどこにおられるかなど、町内の人々ともコミュニケーションをとっておくことが必要です。そういう点がいざという時に生きてくる。

個人情報保護法もありますが、お隣のおばあちゃんが無処に寝ておられるのは、町内毎にでも、頭の中に入れておいてほしいですね。

自分の命は、自分で守ると言うことですね。

酒井 個人でも身近に救命用の笛や携帯ライトはバックにも入れておいて欲しいし、自宅には非常食と防災グッズは常備しておいて欲しい。いざと言ったとき、人口10万人の中央区でも、救急車はたった2台しかありません。

災害用伝言板として、携帯電話を使う方法を知っておく必要がありますね。毎月1日に1771でチェックする習慣をつけて欲しいですね。マンションの方々も子供や奥さんが心配やからね。

安心して住み続けられるまち、安全に暮らし続けられる地域づくりは地域の相互の「コミュニケーション」顔見知りを増やすこと、そして結局日頃からの備えにつぎまかせるかも知れませんね。

第十九回 御倉町(二条通烏丸室町間)

町内探訪



町名由来は元龜二年(五七二)から宝曆十二年(七六二)間刊行の立入宗継文書下、京町鑑等の古書物に「御蔵町」、「御蔵ノ町」、「御倉あくら」町の名称が見られる。

後年(六六五)発行の「京雀」には、当時町内の北西に腹帯地蔵尊が祀られてあり、元龜年間の戦乱時、町民はこの尊像を守護すべく安全な寺院に移そうとしたが何故か尊像は動かず、町内にて「御蔵」を建立、安置せりとある町内由来説。

一方、西三条内裏座敷殿が当町に在ったことから、その官庫あるいは祇園会の神庫に關係しているのではとの由来説など、古きが故に特定し難い。

前記の腹帯地蔵尊は、その後度々の戦火や火災にも難を逃れ、江戸末期には町内中央南側(尚替町三条の突き当り路地)に安置されており、その後土

地が西村家(現榎千總)の所有となり、尊像も同家に譲渡され、今日に至っている。昭和五十六年八月に京都国立博物館の文化財修理所で解体補修が行われ、平安期の典型的な腹帯地蔵尊の秀作と確認。京仏師の手になる立派な寄木造りの彫像である事も判明。現在(榎千總ビル)の中庭には、重厚な扁額掛かる二人塚様式の祠堂あり、中には高さ約1m光背、台座を持つ立派な菩薩立像が祀られ、隣には日蓮宗の高僧の坐像も安置されている。

日蓮宗である西村家は、何れと云う縁で結ばれていると云う。一方、御倉町一帯は、平安京二条南殿跡、鳥羽上皇の邸宅地跡であり、御所庭園「遣水の遺構」が発掘、一般公開されている。平安後期から鎌倉時代にかけての約百五十年間の院政時代の偉大なロマンを秘めた町内でもある。

時の流れと共に、静かだったこの界限も交通量豊く、特に街角の放置自転車には行政、地域自治体も追放策に四苦八苦しているが、来年の祇園祭還幸祭には勇ましい和太鼓演奏の下、御神輿二基の御巡幸を予定している。

京二(びき)株会長 溝渕寿郎
参考文献 「明倫誌」、「日本歴史体系」、他「町内各位」

パトロニア修復完成披露

「サートの」案内

11月15日 7時より 芸術センター

* 曲目 トロイメライ トル行進曲他

* 入場無料

第十三回 アワーズ四条烏丸



所在地 蛸薬師通新町西入る不動町
入居開始 平成13年8月
規模 地上9階(24戸)
管理入 週3回
マンションの特徴 エントランスホー

ルから坪庭が眺めることが出来、毎
日の暮しに潤いが演出されていま
す。

役員構成(計6名)

理事長1名、副理事長1名

理事3名、幹事1名

定期総会年1回、他に臨時総会、
理事会開催。

町内会との関わり 不動町町内会に加入、一月年賀の集い、八月地蔵盆、十月八坂神社へのお千度参りに参加。子供も少なく、マンションの行事はありませぬ。
自治連との関わり 理事会としてはありません。

理事長 森

明倫人

深見 茂さん



深見茂氏は、昭和9年1月に三條室町下がるに生まれ、明倫小学校を昭和21年3月に卒業、大阪大学大学院文学研究科ドイツ文学専攻を終了後、南西ドイツにあるチュービンゲン大学に政府の交換留学生として2年間を過ごされました。

帰国後は甲子園に住まいされ、平成8年3月に大阪市立大学の名誉教授になられるまで昭和33年3月から大阪市立大学で教鞭を執られました。

ご祖父様やお父様が黒主山の理事長をされていた関係で、毎年祇園祭の時にはお手伝いに戻り、その後を継いで昭和61年に黒主山の理事長に就任。

平成8年から、黒主山の理事兼任で(財)祇園祭山鉾連合会の理事長を務めておられ、祇園祭の歴史やあり方について多数の講演会をされています。

子供の頃のお話を伺うと、小学生の

頃は山鉾をジャングルジム代わりに遊び、ペトロピアノを伴奏に国民歌謡を講堂の舞台で歌った事を思い出され、今もその歌詞がすらすらと出てきますよと笑って唄って下さいました。
見せて頂いた小学校三年の日記には昭和18年7月24日の後祭りの神輿のことが書かれてあり、それ以降、祇園祭は戦争により中止になり、その後昭和22年に復活するまで四年間、祇園祭の無い時代を過ごされたそうです。

最後に明倫学区について御伺いしました。

町中(ちよつじゆう)と呼ばれる大店の旦那衆が自治権を持っていた明治以前は、自治の気風が高く、番組(自治組)を中心とした強力な地方分権が確立され、祇園祭もそれにより運営されました。

しかし、近代(明治以降)の効率中心の中央集権(東京中心)になった現在には番組は解散させられ、その精神は受け継がれなくなりましたように思います。

でも、明倫学区に小学校が芸術センターとして残り、祇園祭が言々と続いているといつことは、未だに町中の精神が生きていることの証であり、この地方自治の精神を大切に守って行たいと思っています。

記 長谷川

DEKIGOTO

明倫遺族会の法要開催



百足屋町瑞蓮寺にて6月21日(土)に百足屋町の瑞蓮寺にて実に昭和54年以来となる追悼法要が開催され、吉居遺族会会長以下、吉田自治連会長、井上総務、遺族会会員11名の出席を得て、散華された肉親の霊を慰めました。

天ぶら油回収と野菜市

自治連本部と婦人会との共催で、天ぶら油回収事業がいよいよ明倫学区でも行われることとなりました。

同時に、京北(右京区)や亀岡から、お米、野菜を持ってきていただき、即売会を自治連会館前で行いました。8月の暑いなか、大勢の方々が集まりいただきました。

これから、毎月第一日曜日の午後3時から5時まで行います。



天ぶら油は回収後、ゴミ収集車、市バスの燃料として有効利用されます。

記 井上